さわやか北の風

学校だより　第６号
令和８年 10 月発行
曽於市立大隅北小学校
TEL：　099-483-1811
FAX：　099-483-1882

【学校教育目標】よく考え、心豊かで、ねばり強い子どもを育てる

ふるさとを胸に

校長　山形　幸司

10 月に入り、急に寒くなったと思ったら、また暑さが戻ってくるなど、寒暖差の激しい日が続いています。保護者の皆様におかれましては、御自愛いただきたいと思います。

10 月 17 日（土）は、「蹲踞神社奉納」「大隅北校区秋祭り」がありました。３～６年生の子供たちは、午前中、蹲踞神社にて、秋季例祭に参加し、その後、棒踊りの奉納を行いました。また、夕方からの校区秋祭りでは、再び３年生以上の「棒踊り」、全校児童によるダンスと５・６年生によるダンス、後は、バレー少年団やフラダンス、個人での発表もあり、小学生が大活躍の舞台となりました。

この秋祭りの棒踊りの奉納に向けて、地域の大平さんや久木田さんをはじめ、保護者の皆様が、夜に練習の時間をとってくださいました。また、子供たちは、秋季例祭や、秋祭りを通じ、大隅北校区に受け継がれてきた、多くの伝統を感じることができたと思います。

秋祭りの様子を見て、私が好きな「八甲田山」という映画のある一場面を思い出しました。それは、「一番苦しい時に、何を考えるか？」という登場人物のやりとりがあり、主人公の「私が子供の頃過ごした、故郷の山や川、四季の風景が浮かんでくる」といった台詞があります。私はこのシーンが大好きで、自分の育った環境や風土がいかに人間形成に影響を及ぼすかといったことを考えさせられます。子供たちにとっても、大隅北校区でのこの豊かな体験は、胸に刻まれ、将来に向けての心の財産になると確信しています。保護者の皆様の秋祭りへの御協力、有り難うございました。

今後も、地域の中の学校として、ふるさとのよさを感じ、ふるさとの力を借りながら、ふるさとを胸に成長していく子供たちを、共に育成していきましょう。



虫歯の治療お済みでしょうか？

お子様の歯と口の健康を守るため、まだ治療が済んでない方は、できるだけ早い病院での治療をお願いします！